

2年度 領域別単元一覧

書くこと
読むこと

学習の系統	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
情報の扱い方		いくつかあつめられるかな 友達に伝えたいできごとを、たくさん思い出してメモに書き出し、メモがどんなことに役立つかを考える。	くらべてみよう 複数の事例を、観点を決めて表に整理し、整理した表を基に共通点と相違点を考える。	グループにまともて整理しよう テーマに沿って考えたことをカードに書き出し、書き出したカードをいくつかのグループに別けて図に整理する。	事実と考えを区別しよう グラフから読み取った事実と、その事実から考えたことを、区別して表に書き出す。	原因と結果に着目しよう 絵に表された出来事について、原因と結果の関係をはっきりさせて文章に表す。	
説明・報告	【入門期】 こんなことしたよ 学校でしたことを家の人に伝える文章を書く。 えにつきをかこう 経験したことを絵日記に書いてみんなに知らせる。	【書くこと的基础】 こんなことをしているよ 言葉の力/組み立てを考えて書く かんさつしたことを書く 言葉の力/かんさつして書く あそび方をせつ明しよう 言葉の力/せつ明する文しようを書く 同じところ、ちがうところ 言葉の力/くらべて分かったことを書く	調べて書こう、わたしのレポート 言葉の力 調べて分かったことをつたえる	みんなで新聞を作ろう 言葉の力 知らせたいことを新聞で伝える	環境問題について報告しよう 言葉の力 資料を活用して報告する 和の文化について調べよう 言葉の力 資料を使って説明する	防災ポスターを作ろう 言葉の力 表現の効果を考え報告する	
意見	【書くこと的基础】 はっけんしたよ 會とばの力/よく見てかく おもい出してかこう 會とばの力/じゅんじよにきをつけてかく	この人をしようかいします 言葉の力/しようかいする文しようを書く	自分の考えをつたえよう 言葉の力 自分の考えとその理由を書く	「ふるさとの食」を伝えよう 言葉の力 理由や事例を挙げて書く	反対の立場を考えて意見文を書こう 言葉の力 反対意見を考え書く	世界に目を向けて意見文を書こう 言葉の力 説得力のある意見文を書く	
創作(物語)	おはなしをかこう 言葉の力 人ぶつをかながえておはなしをか	絵を見てお話を書こう 言葉の力 つながりを考えてお話を書く	想をうけて物語を書こう 言葉の力 設定を考えて物語を書く	山場のある物語を書こう 言葉の力 組み立てを考えて物語を書く			
創作(詩・短歌・俳句)	【入門期】 ことばあそびうたをつくろう 擬声語や擬態語を使って言葉遊び歌を作る。		心が動いたことを詩で表そう 言葉の力 心の動きを詩で表す		心が動いたことを三十一音で表そう 言葉の力 発見や感動を短歌で表す	心が動いたことを十七音で表そう 言葉の力 発見や感動を俳句で表す	
手紙		「ありがとう」をつたえよう 言葉の力 手紙を書く	案内の手紙を書こう 言葉の力 だじなことを手紙でつたえる	お願いやお礼の手紙を書こう 言葉の力 相手や目的を考えて手紙を書く			
文集	一年かんをふりかえろう 言葉の力 かいた文しようをよみかえす	「ことばのアルバム」を作ろう 言葉の力 文しようのよいところを見つける	「わたしのベストブック」を作ろう 言葉の力 文章のよいところをつたえ合う	「言葉のタイムカプセル」を残そう 言葉の力 文章のよいところをたしかめる	「わたしの文章見本帳」を作ろう 言葉の力 文章のよきを見つけて生かす	「卒業文集」を作ろう 言葉の力 思いを伝える文章を書く	

学習の系統	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
音読	【入門期】 あめですよ 言葉の響きやリズムを感じながら音読する。	風のゆうびんやさん 言葉の力 お話を音読する	すいせんのラッパ 言葉の力 様子を思い浮かべて音読をする	こわれた千の楽器 言葉の力 想像したことを音読で表す	だいじょうぶ だいじょうぶ 言葉の力 聞き手に伝わるように音読をする	サボテンの花/生きる 言葉の力 聞き手に伝わるように朗読をする	
読み取る	とんことん 様子を思い浮かべながら楽しんで読む。 おおきなかぶ 人物の行動を想像しながら音読する。 あるけあるけ/おおきなあれ 言葉の響きやリズムを楽しみ、声に出して読む。 かいがら 場面の様子に着目して読み、人物の行動を想像する。 みみずのたいそう 言葉の響きやリズムを楽しみ、声に出して読む。	名前を見てちょうだい 言葉の力 場めんを分ける 紙ひこうき 夕日がせなかをおしてくる 空にぐんぐんと手をのばせ 言葉の響きやリズムを楽しみ、声に出して読む。 詩を声に出して読む。	はりねずみと金貨 言葉の力 あらすじをまとめる 夕日がせなかをおしてくる 場面の様子や人物の気持ちを思い浮かべながら、詩を声に出して読む。	運れ 言葉の力 中心人物の変化をとらえる ふしぎ よかつたなあ 場面の様子や人物の気持ちを思い浮かべながら、詩を声に出して読む。	世界でいちばんやかましい音 言葉の力 物語の構成をとらえる		いま始まる新しいいま 詩を読んで感じたことや考えたことが表れるように音読する。
読み深める	サラダでげんき 言葉の力 だれがどんなことをしたかをたしかめる	ニャーゴ 言葉の力 そうぞうを広げて読む	サーカスのライオン 言葉の力 中心人物を見つける	一つの花 言葉の力 題名の意味を考える	注文の多い料理店 言葉の力 表現のくふうを見つける	風切つばき 言葉の力 人物の関係と心情の変化をとらえる	
感想や考えを持つ	スイミー 言葉の力 おはなしのすきなところを見つける	お手紙 言葉の力 自分とくらべて読む	モチモチの木 言葉の力 人物のせいさを想う	ごんざつね 言葉の力 人物どうしの間わりを考える	大造じいさんとがん 言葉の力 人物像を想像する	海のいのち 言葉の力 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える	
読み広げ・読み比べ	おとうとねずみ チロ 言葉の力 人ぶつのおもちをかながえる	かさこじょう 言葉の力 お話のはじめとおわりをくらべる	ゆうすげ村の小さな旅館-ウサギのダイコン 言葉の力 物や道具に気をつけて読む	世界一美しいぼくの村 言葉の力 物語の終わり方について考える	手塚治虫 言葉の力 伝記を読んで考えを深める	ヒロシマのうた 言葉の力 関連付けて読む	
読解の基礎	【入門期】 さとうとしお 事柄の順序などに気をつけて、内容の大体をとらえる。	たんぼぼ 言葉の力 せつめいのじゅんじよ サツマイモのそだて方 言葉の力 せつめいのちがひ	自然のかくし録 言葉の力 だん落の内ようをとらえる 「ほげんだより」を読みくらべよう 言葉の力 書き手のくふうを読み取る	ヤドカリとイソギンチャク 言葉の力 文章のまとまりをとらえる 広告を読みくらべよう 言葉の力 表し方のちがひを読み取る	動物たちが教えてくれる海の中のくらし 言葉の力 要旨をとらえる 新聞記事を読み比べよう 言葉の力 記事の書き手の意図を読む	イースター島にはなぜ森林がないのか 言葉の力 論の進め方をとらえる インターネットの投稿を読み比べよう 言葉の力 説得のくふうを読み取る	
情報活用	いろいろなふね 言葉の力 せつめいの文しようをよむ	ビーバーの大工事 言葉の力 知りたいことを本でしらべる	パラリンピックが目指すもの 言葉の力 要約してまとめる	くらしの中の和と洋 言葉の力 調べたことを関係付ける	和の文化を受けつくる 言葉の力 和菓子をつくる 言葉の力 必要な情報を見つける	町の幸福論 言葉の力 「コミュニティデザイン」を考える 言葉の力 情報を関係付けて活用する	
考えを広げ、深める	子どもをまもるどうぶつたち 言葉の力 くらべてかながえる	あなのやくわり 言葉の力 知っていることとむずびつけて読む	人をつつむ形-世界の家めぐり 言葉の力 もの見方や考え方をとらえる	敵え方を生みだそう 言葉の力 筆者の考えから自分の考えを広げる	「弱いロボット」だからできること 言葉の力 多角的にとらえる	プロフェッショナルたち 言葉の力 文章を読み、考えを広げたり深めたりする	
読書に親しむ	すきなおはなしはなにかな 言葉の力 おはなしをたのしむ	どんな本を読んだかな 言葉の力 いろいろな本を楽しむ	本をしようかいしよう 言葉の力 本をえらぶ	本をみんなにすすめよう 言葉の力 本のみりよくやささを伝える	友達といっしょに、本をしようかいしよう 言葉の力 本と本のつながりを見つける	読書とわたし 言葉の力 読書生活を豊かにする	

この資料は、2年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



2 年度
新しい国語
領域別単元一覽

話すこと・聞くこと

知識及び技能

学習の系統	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
対話	【入門期】 よろしくね いろいろな友達と自己紹介を合して握手をする。 こえをとどけよう	すきなこと、なかに 相手が今、夢中になっていることに関心を 持ち、相手の発言を受けて話す。	何をしているのかな 1枚の絵を見て、相手が考えたことに同意 したり質問したりして、反応を示しながら 話をつなぐ。	もしも、どうしたい 想像したことを互いに話して、共通点や相 違点に着目しながら話す。	この言葉、あなたならどう考える 心に残った言葉について互いに質問しな がら、話をつなぐ。	気持ちよく対話を続けよう 三つの対話の例をもとに、ふだんの自分た ちの対話を振り返り、考えたことを伝え合 う。
聞く	呼ぶ友達を相談して決めてから、みんなの前で名前 を呼ぶ。呼ばれたら返事をする。 みんなにはなそう 見つけたものは何か、みんなの前でクイズを出す。 さいてつたえよう 先生から聞いたことをグループに伝える。	外国の小学校について聞く 言葉の力 聞きたいことをおとさず聞く	メモを取りながら話を聞く 言葉の力 だいたいなことを落とさず聞く	たしかめながら話を聞く 言葉の力 聞きたいことの中心を考えて聞く 話を聞いて質問する	知りたいことを聞き出そう 言葉の力 意図を明確にして聞く	友達の見聞を聞いて考えよう 言葉の力 話し手の考えと自分の考えを比べる
話し合う	なにに見えるかな 言葉の力 はなしをたのしくつなぐ	うれしくなることばをあつめよう 言葉の力 ことばをつないで話し合う	グループの合い言葉をきめよう 言葉の力 司会の進行にそって話し合う	学校についてしようかいることを考えよう 言葉の力 役わりを考えながら話し合う	問題を解決するために話し合う 言葉の力 意図を明確にしながら計画的に話し合う	話し合って考えを深めよう 言葉の力 立場を明確にしながら話し合う
話す (感性)	【入門期】 はなしたくないな 夏休みの思い出をみんなの前で話す。聞き手は質問 や感想を述べる。	たからものをしようかしよう 言葉の力 しようかしたいことがつたわるように話 す	話したいな、わたしのすきな時間 言葉の力 話の中心がつたわるように話す	聞いてほしいな、心に残っている出来事 言葉の力 聞き手につたわるようにくふうして話す	伝えたい、心に残る言葉 言葉の力 伝えたいことが印象に残るように話す	聞いてほしい、この思い 言葉の力 思いが伝わるように話す
話す (情報活用)	すきなきょうかにはな 言葉の力 じゅんじょよくはなす 小学校のことをしようかしよう 言葉の力 できごとのじゅんにはなす	ことばで絵をつたえよう 言葉の力 じゅんじょに気をつけてせつめいする すきな場しよを教えよう 言葉の力 つたえたいことがつたわるように話す	外国のことをしようかしよう 言葉の力 話の組み立てや話し方をくふうする	調べたことをほうこくしよう 言葉の力 分かりやすく伝える	資料を見て考えたことを話そう 言葉の力 考えが明確に伝わるように話す 資料と関係付けて話す	町の未来をえがこう 言葉の力 プレゼンテーションをする

学習の系統	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
言葉の 特徴や使い 方	【入門期】 ひとつつながることば 人との関わりを豊かにする語彙 えんぴつをつかうときにしめかめよう 鉛筆の持ち方・姿勢・手の置き方 かいてみよう 運筆練習・易しい字形の平板名 あいうえおのうた 母音の口形と発声 あいうえおのことばをあつめよう 言葉集め ‘や’のつくじ 濁音や半濁音を含む語の読み書き ふんをつくらう 助詞「が」 はをつかおう 助詞「は」	をへをつかおう 助詞「を」「へ」 ちいさいっ 促音を含む語の読み書き ことばあそび しりとりなど あひるのあくび 五十音の口形と発声 のぼすおん 長音を含む語の読み書き ちいさいやっほ 拗音を含む語の読み書き かぞえうた 漢数字・数詞 かんじのはなし 漢字の成り立ち	かん字の書き方 漢字の筆順と画数 かたかなで書くことば 片仮名で表記する言葉 はんたいのいみのことば 対義語 にたいみのことば 類義語 主語とじゅつ語 主語・述語 なかにまになることば 言葉の類別 おくりがなに気をつけよう 送り仮名 声に出してみよう 音節・アクセント・母音と子音の感覚	国語じてんの使い方 国語辞典の活用 漢字の表す意味 漢字の複数の意味 ローマ字① ローマ字の表記 くわしく表す言葉 修飾語 ローマ字② ローマ字の表記・コンピューターでの 入力 漢字の読み方 漢字の音訓・送り仮名 漢字の組み立てと意味 部首	漢字辞典の使い方 漢字辞典の活用 ローマ字の書き方 訓令式・ヘボン式の表記 文の組み立てと修飾語 主語・述語・修飾語 つなぐ言葉の働き 接続語句 じゅく語の意味を考える 二字熟語 同じ読み方の漢字 同音・同訓の漢字	漢字の成り立ち 象形・指事・会意・形声 文の組み立てをとらえよう 文の構成・係り受け 歌語の使い方 尊敬語・謙讓語・丁寧語 和語、漢語、外来語 連種・言葉の由来 熟語を使おう 二字熟語の構成と活用	さまざまな熟語 三字以上の熟語の構成 複合語 複合語 場面に応じた言葉づかい 敬語の活用・敬意表現 文と文とのつながり 文の連続性 表現をくふうする 比喩・表現の工夫
知識及び技能	かたかなをかこう 片仮名の表記 よう日と日づけ 曜日と日付の読み方と表記 まとめてよぶことば 上位語・下位語 ことばであそぼう 語彙・言葉遊び	かたかなのかたち 片仮名の字形 ことばをあつめよう 語彙・ことばあつめ かたちのにているかん字 漢字の字形	ことばを広げよう 語彙の拡充	言葉でつたえ合う 言葉の働き・伝え合い	言葉で考えを伝える 思考を表す言葉・表現	日本語と外国語 英語と対照した日本語の特徴	言葉の学習をふり返る 言葉の使い方の振り返り
伝統的な 言語文化	むかしはなしをたのしもう 昔話の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりして楽しむ。	書いたえられているお話を知らう 神話・伝承の読み聞かせを聞いたり自 分で読んだりして、おもしろいと思っ たところを発表する。	慣用句を使おう さまざまな慣用句の意味を、国語辞典 で調べるとともに、慣用句を用いて文 章を作る。	ことわざと故事成語 ことわざや故事成語について知り、意 味や使い方を理解して「ことわざ・故 事成語ブック」を作る。	古文に親しむ さまざまな古文作品の冒頭に触れ、気 づいたことや興味を持ったことを交流 する。	漢文に親しむ さまざまな漢文の作品に触れ、言葉の 響きやリズムを味わいながら音読する。	
図書館・読書	【入門期】 ほんがたたくさん 読み聞かせを聞いたり本棚を眺めたりして、本を読むことに関心を 持つ。 としょかんはどこなところ 学校図書館の利用に意欲を持つ。 ほんはともだち はじめてよんだほん/角野栄子	としょかんへ行こう 学校図書館の利用の仕方を理解すると ともに、配架されている本に興味を持つ。 本は友達 どうの王さま/やなせたかし	図書館へ行こう 学校図書館の本の分類や配架について 理解する。 本は友達 心の養分/茂村久美子	図書館へ行こう 学校図書館の本の分類について理解を 深める。 本は友達 本は楽しむもの/米村でんじろう	図書館へ行こう 学校図書館のさまざまな種類の本や資 料を活用する。 本は友達 すてきなこと/あさのあつこ	図書館へ行こう 地域の図書館や社会教育施設の利活用 に目を向ける。 本は友達 本がいざなう、もう一つの世界/上橋菜 穂子	

この資料は、2年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



反対の立場を考えて意見文を書こう



言葉の力

★ 反対意見を考えて書く

■ 覚えているかな

★ 理由や事例を挙げて書く ↓ 277 ページ

つかむ

クラスをよりよくしていく方法として、どんなことが考えられるでしょうか。山下さんは、レクリエーションの時間にみんなでドッジボールをすれば、クラス全員がもっと仲良くなれると考え、意見文にまとめました。文章を読んで、気づいた点やよいと思った点を話し合みましょう。



クラスをよりよくしていくには、どうすればよいと思いますか。五年生になってから、クラス全員で遊ぶ機会があまりありませんでした。もし、全員が参加できて楽しめる活動をすれば、みんながもっと仲良くなれるのではないかと考えました。そこで、わたしは、レクリエーションの時間にクラス全員でドッジボールをすることを提案したいと思います。

10

5

理由は二つあります。一つ目は、クラスの中でとても人気がある遊びだということです。実際に、休み時間にドッジボールをしている人はたくさんいます。ルールの説明もいらぬし、大勢で行えば、もっともり上がると思います。二つ目は、チームの協力が大切な遊びだということです。ドッジボールでは、外野と内野の連係が重要になってきます。友達と力を合わせることで、クラス全体の仲もさらに深まると思います。

もつとも、ドッジボールでは、得意な人ばかりがボールを取ることで、ボールにさわれない人は楽しめないという心配があるかもしれません。ボールに当たるといいたいし、速くて強いボールはこわいという人もいるでしょう。確かに、ボールにさわれず、にげてばかりでは楽しめないかもしれません。その場合、全員が一度はボールを投げられるように、取った人は、まだ投げていない人にボールを回すようにすればいいと思います。また、ソフトバレーボールのようなやわらかいボールを使えば、安心して楽しめます。

勝つことばかりにこだわるのではなく、全員が楽しめるようなルールにすれば、ドッジボールはクラスをよりよくしていくのにふさわしい活動だと思います。

どんな構成で文章が書かれているだろう。



5

得
える

反対の立場の人があることも想像して書いているね。



10

15



自分の意見とは反対の立場の人を説得するには、どのような書き方をするとよいのかな。

際
サイ

理由を明らかにし、反対意見も想定しながら、意見文を書きましよう。

■学習の見通し

- ① 考えを整理する。
- ② 反対意見を予想して対応を考える。……★ 反対意見を考えて書く
- ③ 構成を考える。……★ 反対意見を考えて書く
- ④ 意見文を書く。
- ⑤ 感想を伝え合う。

5

① 考えを整理する。

「クラスをよりよくしていくにはどうすればよいか」という話題に対して、考えを整理しましょう。自分の意見と、そう考えた理由をメモにまとめましょう。

意見

レクリエーションの時間に、クラス全員でドッジボールをする。

理由

① クラスで人気がある。休み時間に遊んでいる人も多い。

② チームワークが大切な遊びなので、みんなでやればクラスがまとまる。

② 反対意見を予想して対応を考える。

自分の意見への反対意見を予想して書き出しましょう。いろいろな考え方があ

15

修
シ
ン
ユ
ウ
お
さ
ま
る

■ 反対意見への対応のメモの例

予想される反対意見

- ◎ 得意な人ばかりにボールが回り、ボールにさわれない人も出てくる。
- ◎ 反対意見②
- ドッジボールはかたいので、当たるといたい。
- 得意な人の投げるボールは速くてこわい。
- ドッジボールは休み時間にできるのに、別の遊びをしたい。

反対意見に対して

ボールを取った人が、まだ投げていない人にボールをわたすように、ルールを変える。

ソフトバレーボールのようなやわらかいボールを使う。

得意な人は、ききうてではない方ので、ボールを投げる。

理由に入れる

全員で行えば、休み時間にするのより、もっともり上げるのではないか。ドッジボールだとみんながルールを分かっている。

反対の立場から考えてみると、いろいろな気づかなかったところが見えてくるね。



★ 反対意見を考えて書く

- 反対意見を予想することで、どんなことが分かってくるだろう。
- 反対の人に納得してもらうためには、どのような対応を考えればよいだろう。

10

3 構成を考える。

意見と理由のメモや、反対意見への対応のメモをもとに、意見文の構成を考えましょう。

自分の意見や理由、予想される反対意見など、どのような順序で書けば、分かりやすい文章になるでしょうか。説得力のある構成をくふうしましょう。

★ 反対意見を考えて書く

- どのような構成にすると、自分の考えを分かりやすく伝えられるだろう。
- 予想される反対意見は、どのように示せばいいだろう。

10

4 意見文を書く。

構成メモをもとに、自分の考えを文章にまとめましょう。



15

■ 構成メモの例

結論	本論			序論
まとめ	反対意見への対応	予想される反対意見	提案理由	話題の提示
みんなが楽しめるようなルールにすれば、ドッジボールはクラスをよりよくするのにふさわしい活動である。	① ボールを取った人が、まだ投げたいない人にボールをわたすようにする。 ② やわらかいボールを使う。	① 得意な人ばかりにボールがいく。 ② ボールが当たるといたい。	(1) ドッジボールはクラスの中でも人気がある。 ・ ルールの説明がわからない。 ・ 大勢で行えば、もっともり上がる。 (2) チームの協力が大切な遊びなので、クラス全体の仲が深まる。	クラスをよりよくしていくにはどうすればよいか。 ↓ 全員が参加して楽しめる活動があるといい。 レクリエーションの時間に、クラス全員でドッジボールをする。

5 感想を伝え合う。

書いた文章を友達と読み合ひましょう。意見と理由ははっきりしているか、反対意見を予想して書いているか、構成は分かりやすいか、といった点に気をつけて読み、よかったところを伝え合ひましょう。

ふり返る

説得力を持たせるために、どんなことに気をつけて文章を書きましたか。



5

言葉

予想される反対意見を示すときに使う言葉

確かに〜かもしれません。

〜と考える人もいます。

漢字

同じ部首の漢字(「尸」こぎとへん)

際 — 国際理解 親しく交際する

険 — 険しい山道 険悪 保険

「得」の使い方

許可を得る 得点 得心 損得



言葉の力

★ 反対意見を考えて書く

- ・ 反対意見を予想し、どう説得するかくふうすること、自分の考えを深める。
- ・ 自分の意見や、反対意見への対応が明確になるよう、文章の構成を考える。
- ・ 反対意見とそれに対する自分の考えをもうりこんで文章を書く。

10

■ 生かそう

話し合いのときに、予想される反論も考えて意見を言う。

険 けわしい
ケン

許 ゆるす
キョ

可 カ